

5 あなたはどのタイプ？性格診断テスト

(p.18~21)

<授業での活用例>

さまざまな悪質商法があることを理解し、その対処法について考えることを目的としている。

<補足解説>

ここでは、性格診断テストを通して、被害にあいやすい悪質商法を学ぶ。自分の分だけでなく、家族や周りの友達と比較しながら、数多くの悪質商法が存在していることを学習することで、興味を持っていろいろな悪質商法について知ることができる。ここにあげた悪質商法は一例で、呼び方もさまざまであることを注意したい。また、いくつかの商法を組み合わせたパターンも存在し、年々複雑になっていることも知っておきたい。インターネットの普及やグローバル化などにより、販売方法が多様化し、毎年のように新しい悪質商法が生まれているのが現状である。多くの悪質商法は、消費者の「儲けたい」という気持ちを利用したり、不安を煽ったりして契約を迫るが、近年ではオリンピック・パラリンピック関連事業や、震災復興、再生エネルギー、地域振興など、消費者の善意に付け入る手口も増えているので、注意を促したい。寄付などをする際は、どのような団体か自分で確認してから行うようにしたい。

若者が、どのような商品・サービスに対して消費生活相談をしているのか、以下の表で示す。デジタルコンテンツや、ひとり暮らしがきっかけとなる商品・サービスの相談が多く、女性は美容に関する相談が多いのが特徴である。

【若者の商品・サービス別上位相談件数（2017）】

| | 15～19 歳男性 | 15～19 歳女性 |
|----|---------------|---------------|
| 1 | アダルト情報サイト | 他の健康食品 |
| 2 | デジタルコンテンツ（全般） | アダルト情報サイト |
| 3 | オンラインゲーム | デジタルコンテンツ（全般） |
| 4 | テレビ放送サービス（全般） | テレビ放送サービス（全般） |
| 5 | ビジネス教室 | 他のデジタルコンテンツ |
| 6 | 他のデジタルコンテンツ | コンサート |
| 7 | 出会い系サイト | 脱毛剤 |
| 8 | 商品一般 | 商品一般 |
| 9 | 賃貸アパート | 出会い系サイト |
| 10 | 普通・小型自動車 | 賃貸アパート |

(PIO-NET に登録された消費生活相談件数)

<高齢者も狙われている>

『おとなドリル』の性質上、今回は若者が遭遇しやすい悪質商法を中心に扱ったが、高齢者を狙った悪質商法も多くなっている。p.20-21 で扱えなかった悪質商法の中で、高齢者被害の多いものを見ていく。

①かたり商法（身分詐称）

公的な機関の人間など、信頼性の高い身分であると偽って電話や訪問を行い、商品やサービスを契約させる。県や市の職員、電力会社の写真、国民生活センターなどの職員や、有名企業の社員などを詐るケースが多くなっている。

同様の詐欺で、若者が狙われやすい「サクラサイト詐欺」というものもある。サクラサイトは、芸能人や占い師などを装って、ダイレクトメールや SNS で接触し、メールの返信を求める手口である。芸能人のマネージャーから「事務所を通さずに連絡を取りたい」と言われたケースや、「税金対策のためにお金を受け取ってほしい」などと接触するケースなどもあるのであやしい接触には応えないことが大切である。

②次々販売

一度騙されたひとりの消費者に、次から次へと契約させる商法である。1つの業者が何度も契約を迫ることもあるが、悪質業者同士で騙された人の情報を共有することで、複数の業者から狙われるケースも多い。高齢者のひとり暮らしは特に狙われやすいので、地方に住む祖母などの様子におかしなところがないか、注意することも大切である。

③還付金詐欺

医療費や税金などの払い過ぎた分を返還する制度が還付金だが、「還付金の払い戻しができます」などと電話や葉書で接触し、キャッシュカードを受け取ったり、ATM で振り込みをさせたりする。ATM では還付金は受け取れないことを認識したい。

④点検商法

無料で住宅や水道の点検をしますなどといって訪問し、「水質に問題がある」「シロアリがいるので今すぐ対処が必要」などと、不安を煽って不要な工事などを契約させる。点検商法が成功すると目印を付けて、その目印を元に別の点検商法業者がやってくる次々商法もある。ひとり暮らしの高齢者は気をつけたい。

●悪質商法にあわないために

悪質商法にあわないためのポイントについて、警察庁は「うそつき」という標語で注意を喚起している。

・「う」

うまい話を信用しない！うまい話、絶対もうかる話には、必ず大きな落とし穴・・・

・「そ」

そうだんする！ひとりで判断せず、家族・知人・相談機関に相談を

・「つ」

つられて返事をしない！すぐに契約しない！悪質業者は、言葉巧みにすぐ契約するように迫ってきます

・「き」

きっぱり！ はっきり！ 断る！あいまいな返事をせず、キッパリ！ ハッキリ！ 断る！

アポ電による被害

強盗殺人事件によって注目を集めた「アポ電（企業や家族を装って、家族構成や貯金の有無、不在の時間などを聞き出す電話）」は、以前から振り込み詐欺などにつながるとして注意喚起されていた。近年は、詐欺事件だけでなく、強盗や殺人などの凶悪な犯罪のきっかけとなるケースも出てきているので、十分な注意が必要である。